

*それぞれの題材の学習に生かせる既習事項はどのようなことか、それぞれの題材で学んだことがその後の学習でどのように生かせるのか、参考にしてください。

*それぞれの題材に対応する「6 小学校」、「7 中学校」のページが示してあります。

B 鑑賞

小学校 1・2年生

内容 B 鑑賞(1)

身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、

次の事項を指導する。

小学校のアは、鑑賞の能力の観点から整理されています。

ア

自分たちの作品や身近な材料などを楽しく見ること。

イ

感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。

小学校 3・4年生

内容 B 鑑賞(1)

身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、

次の事項を指導する。

小学校のイは、言語活動の観点から整理されています。

ア

自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。

イ

感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かること。

小学校 5・6年生

内容 B 鑑賞(1)

親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、

次の事項を指導する。

ア

自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ること。

イ

感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること。

中学校1年生

内容 B 鑑賞(1)

美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、

鑑賞に関する次の事項を指導する。

中学校第1学年の、言語活動の観点が見されています。

ア

造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げること。

イ

身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高めること。

中学校第2、3学年の言語活動の観点が見されています。

中学校2・3年生

内容 B 鑑賞(1)

美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう活動を通して、

鑑賞に関する次の事項を指導する。

平成20年の改訂で、我が国の美術についての学習が重視されました。

ア

造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り見方を深め、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして、美意識を高め幅広く味わうこと。

イ

美術作品などに取り入れられている自然のよさや、自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術の働きについて理解すること。

ウ

日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違と共通性に気づき、それぞれのよさや美しさなどを味わい、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。